

ほほえみ No.2 臨時号

平成 28 年 4 月 13 日 阿見第二小学校保健室

1・2・3・6年生で、インフルエンザ およびインフルエンザ 様症状による欠席者が増えました。他学年も含め今後の状況を把握し、適切な対応をしていきます。

インフルエンザ の感染力はとても強く、全員が細心の注意を払って予防に取り組むことが必要です。つきましては、下記をお願いをもう一度よくお読みいただき、予防対策にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。



【欠席・早退状況】

日		11	12	13
曜日		月	火	水
出席停止	インフルエンザ B	3	8	9
病欠	かぜ・熱	4	3	4
	胃腸炎	0	1	1
早退		2	2	—
計		9	14	14

インフルエンザ予防のためのお願い

おねがい	ミニ情報
毎朝、健康観察をしてください 	• 体温が 37.0℃以上の時は、登校しても容態が悪化したり、他の児童への感染につながる可能性があります。
ハンカチ・マスクを持たせてください 	• ハンカチは、ズボンのポケットに入れさせてください。上着は脱いでしまうので、ズボンが確実です。 • マスクを落とした・汚れた・切れたということがよくあります。マスクは余分に持たせてください。
外出前後の予防を確実にしましょう	• 町内・周辺市町村では、インフルエンザ がまだ流行しています。マスクの着用や、帰宅後の石けんでの手洗い・うがいを確実にを行うようにしましょう。

おねがい	ミニ情報
家族内でインフルエンザ にかかった方が 1 人でも出たら、全員マスクをさせましょう 	• 学校でのインフルエンザ の流行は、家庭内感染から伝搬することがとても多いです。家族内で誰か 1 人でもインフルエンザ にかかった方がいた場合、お子さんたちが元気であっても、学校へは必ずマスクをつけて登校させてください。家では潜伏期で症状が出ていないだけで、登校後に突然発症することがあります。
病院へは、発熱後 12 時間以上経ってから受診するのが望ましいと言われていますが、症状が重症の場合（ぐったりしている・けいれん・40 度以上の発熱）は、すぐに受診しましょう。 	• インフルエンザ 検査キッドは、発熱後 12 時間以上経っていないと、反応が出にくいと言われています。そのため、すぐに病院を受診しても「明日また来てください」と言われてしまう場合があります。 ※インフルエンザ 検査キッドの性能は、6～7割であり、インフルエンザ であっても陰性と出ることがあります。お子さんの症状や、周囲の流行状況から見て、インフルエンザ の可能性が高い場合は、登校について医師とご相談ください。
<u>登校できるのはいつから…？</u>	• インフルエンザ の症状が治まり登校できるようになるには、次の2つの条件を満たすことが必要です。 *発症日を0日目として、5日を経過すること *熱が 平熱 で安定してから、2日を経過すること 発症日はいつか、熱が 平熱 になったのはいつかを、よく確認しましょう。

家族がインフルエンザ にかかったら

- 1 こまめに空気の入換えをしましょう。
- 2 湿度を上げましょう。
- 3 なるべく別室で休ませたり、食事も別室でとらせたりしましょう。
- 4 インフルエンザ のお子さんとかかわる際は、マスクをつけましょう。（食事を運ぶ際など）
- 5 タオルの共用はしないようにしましょう。（タオルから接触感染することもあります）
- 6 熱が下がってからも、2 日間は、なるべく食事は別にとり、かかわる際もマスクをつけましょう。

